実践例　ブランコ乗りとピエロ（教科書P.133-139）

	学習活動（主な発問と児童の反応）	指導上の留意点
1	**▶サーカスについて確かめ、本時のキーワードを提示する。** **○サーカスについて、知っていますか。** ・ピエロ。　　・綱渡り。 **○サーカスを成功させるためには、何が必要ですか。** ・観客を楽しくさせる。笑顔にさせる。 ・日頃からの練習。 **○生成AIにきいてみたら、こんな答えが出てきました。** ・1.チームワーク、2.質の高いパフォーマンス、3.独自性と創造性、4.安全性、5.観客との共感、6.マーケティングと運営、7.持続可能性。	・教材に登場するサーカスやピエロについて、挿絵を黒板に提示しながら視覚的に確認した。 ・児童には、本時のテーマを直接示すのではなく、生成AIを介して、本時の内容と関わる「チームワーク」というキーワードを示して、意識づけた。 ・難しい語句は、適宜解説した。
	テーマ　**意見の違う人と同じチームで何かをするためには、どんな心が必要なのだろう。**	
2	**▶「ブランコ乗りとピエロ」を読んで、考える。** **①この話の問題点はどんなところでしょう。** ・チームワークが悪い。 ・サムと、ピエロと団員が憎み合っている。 ・サムが自分だけいいところを見せようとしている。 補助発問　**このままだと、このサーカス団はどうなるでしょう。** ・チームがまとまらず、潰れる。 ・自分だけスター気取りだと、他の人がすることがなくなる。 ・自分だけ主役になろうとすると、信頼されなくなる。	・朗読の前に、挿絵を黒板に提示して、登場人物の確認をした。また、「この話には問題があります。何が問題かを考えながら聞いてください。」と事前に伝えて、問題意識をもちながら聞けるようにした。 ・焦点化して考えられるよう、教科書P.136L.15までを朗読した。 ・児童の反応に応じて、「このままだと、サーカス団はどうなるか。」「サムの問題点は何か。」「ピエロや団員に問題はないか。」などの補助発問を投げかけ、問題点を具体的に押さえられるようにした。導入で提示したキーワードを適宜想起するよう声をかけた。
	②あなたがピエロの立場だったら、サムをどう思いますか。スマイルメーターを使って、グループで話し合いましょう。 ・〈すっごく不満〉サムは自分勝手に行動し、他の人に活躍の場をあげなかったから。 ・〈まあまあ不満〉サムに対して不満だけもっていたら、許すことができないから。 ・〈まあまあ共感〉自分もサムのように目立ちたいという気持ちがあったから。	・サムに対する気持ちを個人で考えた後、グループ内でお互いの画面を見せ合いながら、スマイルメーターで表した感情や程度の違いに着目して意見を交流させた。 ・どうしてその気持ちとその程度を選んだのか、可能であれば理由をタイトル欄に記入するよう指示した。 ・机間指導をしながら児童の考えを把握し、全体共有の際に意図的指名を行った。児童の「選んだ感情」「その感情の程度」「理由」に着目した。
	中心的な発問 **③このサーカスのチームワークをよくするために、あなたなら、どんなアドバイスをしますか。** ・お互いがスターだと認め合おう。 ・みんながスターであり、主役だと呼びかける。 ・みんな平等なんだと確認し合う。 ・スターや主役という概念をなくそう。みんな平等なんだ。 ・よく話し合って、相手のことを認め合う。	・これまでの話し合いの中で出てきたキーワード「認め合う」「尊重し合う」「許す」「信頼」などを板書などで確認したうえで発問した。 ・意見交流が終わったら、教材を最後まで朗読した。